

群馬イノベーションアワード

今こそ斬新な発想を

次代を担う起業家を発掘す

る「群馬イノベーションアワード（GIA）2020」について、上毛新聞社と実行委員会は30日までに、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じた上で開催することを決めた。12月5日に前橋市のヤマダグリーンドーム前橋でファイナルステージを予定し、感染状況によっては会場を変更してオンラインでの開催を目指す。

エントリーは7月1日～9

7月1日エントリー開始

ビジネスプランなど3部門

月15日。10月上旬に1次書類審査、同24日に2次プレゼンテーション審査を行い、ファイナリスト15組を決める。例年、独創的なビジネスプランや事業実例が数多く寄せられており、事務局は「生活様式が一変した今こそ、あらゆる分野でイノベーションが求められている」として、斬新な発想の応募を期待している。

013年から実施しており、今年で8回目。募集部門はビジネスプラン、スタートアップ、イノベーションの3部門で、ビジネスプラン部門はさらに高校生、大学生・専門学校生、一般の3部に分かれる。起業家を目指す人の挑戦の舞台として年々注目度が高まっており、昨年は過去最多を更新する計428件の応募があった。

希望者は7月1日以降にGIAホームページ (<https://www.gi-award.com>) からエントリーする。問い合わせは同社事業局 (☎027・254・9955) へ。